

地球環境政策・イノベーション論講座

Blue Laboratory (略称 Blabo)

【担当教員】青 正澄 Masazumi Ao

【募集定員】10名

【ゼミ見学】月曜4限(2年)・5限(3限)は随時可能
文化系研究棟503号室



地球環境問題の解決を目指すことに、強い意欲を持った学生が集まるゼミです！

■ゼミで扱う研究テーマ

気候変動・大気汚染・海洋汚染等に関連するテーマが中心です。

1) カーボンニュートラル(脱炭素化) **LCA分析・活用**

2) サーキュラーエコノミー(資源循環)

3) 海洋プラスチックごみ、4) 国際環境協力、5) 農業と食料生産とエコ消費

6) 横浜プロジェクト「横浜未来実装」Green EXPO 2027プロジェクト展開中

■ゼミ生の能力向上：国内・海外での活動を通じて、英語や日本語によるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上に取り組んでいます。

■ゼミの研究対象地域

1) スウェーデンやイギリスを中心に欧州各国、2) 米国、3) アジア全域、4) オセアニア、5) 日本各地、が中心です。アジアは全域が対象ですが、インド研究にも力を入れています

■ゼミ研修 スウェーデン研修(2022年9月実施)、小笠原父島研修(2025年6月実施) スウェーデン研修(2026年2月予定)、沖縄・渡嘉敷島(2026年9月予定)

■学部担当科目 共通教養科目：総合講義「環境論入門」

専門科目：「地球環境政策論」「資源循環論」「演習」他

■主な就職先 NHK、フジテレビジョン、日本航空、ドイツ銀行、日本IBM、富士通、みずほ銀行、横浜銀行、鹿島建設、住友林業、構造計画研究所、レナウン、パソナ、パナソニック、東京電力、中国電力、横浜市、横須賀市、都庁、青森県、大田区、農林水産省、サステナブル経営推進機構、日本学術振興会、環境省、中高教員、大学院進学、他

【質問など連絡先】 メールアドレス：blue@yokohama-cu.ac.jp

ホームページ：<https://www.aomasazumi-bluelab.com/>

■メッセージ DX&知識社会のリーダーとなるエリート人材を育成します！

雄大な自然環境を体感することが好きで体力があり、好奇心旺盛で活動的な人、国際問題の課題解決にチャレンジしてみたい、という、とても元気な人に向いているゼミです。

私の趣味は硬式テニスとアウトドアスポーツ、オペラ・バレエ・ミュージカル鑑賞です。特にバレエの踊りや衣装、舞台芸術の美しさや華やかさに魅了されます。

環境政策イノベーション論講座 Blue Laboratory

【コース】 国際教養学部 都市学系

【担当教員】 青 正澄 教授 【ゼミ室】 文科系研究棟503号室



【研究内容】

地球環境問題に関する内容について各自テーマを決めて研究に取り組んでいます。
e.g.) 大気汚染、サーキュラーエコノミー、海洋汚染、環境教育 etc..

【活動紹介】

▶ 全体ゼミ

- 月に一度、ゼミ生全員が集まる全体ゼミを開催しています。
- 全体ゼミでは、参加予定のイベントに関する打ち合わせや、2~4年生まで同じグループで研究を進める「グループ研究」の進捗報告・共有を行っています。
- 研究テーマは主に「海洋汚染班」「温暖化・大気汚染班」「SCP（持続可能な生産と消費）」の3分野に分かれています。また、横浜市との連携プロジェクト「横浜未来実装」や「Green EXPO 2027」プロジェクトにも取り組み、脱温暖化とサーキュラーエコノミーの実現し、Well-being（幸福度）の向上を目指します。

▶ 国内研修

- 2024年と25年は、小笠原諸島父島を訪問し、ウミガメを中心とした生態系の保護とプラスチックによる漂着ごみとそれに伴う海洋汚染の実態を調査する為に、小笠原海洋センターや地元の環境NGOにご協力を得て調査を実施しました。世界遺産に登録された島の生態系保護の問題、海洋ごみの問題、ウミガメが生息し易い環境を守るための活動を実施していきます。26年度は沖縄・渡嘉敷島でも行います。

▶ 海外研修

- 2026年2月は、スウェーデンのウプサラにて研修を行います。“Plastic Packaging” “Sharing Service” “Sustainable Energy” の3グループでの研究成果について発表・意見交換を行う予定です。
- 研修後には、参加者の8割が留学に挑戦するほど、英語での議論を通じて、英語力に自信が持てるようになりました。



ゼミでは次のような能力を得ることができます！

「英語力」：英語文献を読み漁ったり、ゼミ内で英語ディスカッションを行なったりします。

「論理性」：研究に関する先生の厳しいチェック、個の意見を述べる機会が多いです。